

事業名	公立大学法人運営費交付金（芸術文化短期大学）	事業期間	平成 18 年度～平成 23 年度	上位の施策名	大学等高等教育の推進
				担当課・局・室名	政策企画課

[目的、現状・課題]

目的	対象	公立大学法人	現状・課題	18歳人口の減少の中で学生の獲得競争が激化している。県立大学でも魅力ある大学に向けた取組が行われているが、今後さらに地域に求められる大学として、教育研究や大学運営の在り方を検討する必要がある。
	意図	魅力ある大学づくりと効率的な大学運営を行う		

[事業の実施状況]

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト					
				20年度	21年度	22年度	23(予算)		
大分県立芸術文化短期大学運営	運営費交付金の交付（22年度：479,583千円）	交付金	公立大学法人	総コスト	524,634	476,728	484,583	458,063	
				事業費	519,634	471,728	479,583	453,063	
				うち一般財源	519,634	471,728	479,583	453,063	
				人件費	5,000	5,000	5,000	5,000	
				職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50	

[事業の成果等]

事業の成果	指標名(単位)	事業の実績			最終目標	
		21年度	22年度	目標値	目標年度	
平成18年4月1日から公立大学法人に移行した大分県立看護科学大学及び大分県立芸術文化短期大学が、法人化後の新しい運営のための基盤づくりを行い、県が策定した中期目標（H18～H23）に掲げられた教育・研究の向上や社会貢献の推進、効果的な組織運営の実施を達成するための具体的な取組を進めることができた。	活動指標	芸術文化短期大学就職率(%) 3月末現在	80.3	79.2		

  

成果指標	指標名(単位)	達成度	20年度	21年度	22年度	23年度	最終達成(23年度)	評価	備考		
			目標値	80	80	80				84	84
			実績値	80	84						
			達成率	100.0%	105.0%						

評価委員会が年度計画の進行状況を大項目ごとに5段階評価したものを点数に換算し、各項目の評価点の合計により算出(8月予定)  
(5項目×20点=100点満点：S=20、A=16、B=12、C=8、D=4)  
H19～評価開始

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による実施が必要	地方独立行政法人法	大学運営のために必要な財源であり、県が設立団体であるため。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	22年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標		左の計算式
			20年度	22年度	
			事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	図っている(拡大困難)	

[総合評価]

方向性	現状維持	方向性の判断理由	平成23年度までの中期目標、中期計画に沿って交付する必要があるため
改善計画等	・24年度から開始する新たな中期目標、中期計画期間(6年間)の交付金について検討		

事業名	公立大学法人運営費交付金(看護科学大学)	事業期間	平成 18 年度～平成 23 年度	上位の施策名	大学等高等教育の推進
				担当課・局・室名	医療政策課

[目的、現状・課題]

目的	対象	公立大学法人	現状・課題	18歳人口の減少の中で学生の獲得競争が激化している。県立大学でも魅力ある大学に向けた取組が行われているが、今後さらに地域に求められる大学として、教育研究や大学運営の在り方を検討する必要がある。
	意図	魅力ある大学をつくる		

[事業の実施状況]

(単位：千円)

活動名	活動内容	執行形態	事業主体	コスト	20年度	21年度	22年度	23(予算)
大分県立看護科学大学運営	運営費交付金の交付(22年度：595,837千円)	交付金	県	総コスト	646,564	603,697	600,837	590,933
				事業費	641,564	598,697	595,837	585,933
				うち一般財源	641,564	598,697	595,837	585,933
				人件費	5,000	5,000	5,000	5,000
				職員数(人)	0.50	0.50	0.50	0.50

[事業の成果等]

事業の成果	平成18年4月1日から公立大学法人に移行した大分県立看護科学大学が、法人化後の新しい運営のための基盤づくりを行い、県が策定した中期目標(H18～H23)に掲げられた教育・研究の向上や社会貢献の推進、効果的な組織運営の実施を達成するための具体的な取組を進めることができた。	活動指標	指標名(単位)		事業の実績		最終目標		
			看護科学大学看護師国家試験合格率(%)		21年度	22年度	目標値	目標年度	
					100.0	100.0			
成果指標	指標名(単位)	達成度	20年度	21年度	22年度	23年度	最終達成(23年度)	評価	備考
	事業年度計画の進捗状況(点)	目標値	80	84	84	84	84		評価委員会が年度計画の進行状況を大項目ごとに5段階評価したものを点数に換算し、各項目の評価点の合計により算出(8月予定) (5項目×20点=100点満点：S=20、A=16、B=12、C=8、D=4) H19～評価開始
		実績値	84	84					
		達成率	105.0%	100.0%					

[県が実施する必要性]

検証の視点	検証結果	活動根拠	説明
国・市町村・民間団体との役割分担を踏まえ、県による実施が必要か	県による実施が必要	地方独立行政法人法	大学運営のために必要な財源であり、県が設立団体であるため。

[実施方法の効率性]

検証の視点	検証結果	22年度までの主な効率化の取組状況	効率性指標		左の計算式
事業の簡素化、実施方法の見直し(業務の民間委託など)を図っているか	図っている(拡大困難)	・中期目標、中期計画に沿って交付(毎年運営費支出の1%減を図っている。)	20年度	22年度	総コスト / 成果指標の実績値
			7,697 千円/点		

[総合評価]

方向性	現状維持	方向性の判断理由	大学運営に必要なため
改善計画等	・24年度から開始する新たな中期目標、中期計画期間(6年間)の交付金について検討		